

令和7年度島根県立大学人間文化学部  
学校推薦型・総合型選抜 社会人・学士 帰国生 私費外国人留学生特別選抜  
地域文化学科 小論文出題意図

I. 出題内容

- 問1 問題文における論の展開を理解し、簡潔にまとめる力を問う。(150字以内)
- 問2 与えられた問いを的確に把握し、論点を絞って論理的に思考・判断し、説得的な議論を展開・記述する力(論理的思考力・表現力)を問う。(800字以内)

II. 出題意図

問題文は、外国語学習や異言語話者間の相互理解について、母語と認識の関係の視点から論じたものである。今回抜粋した箇所は外国語学習の場면을主に扱っているが、そこで示された見方・考え方は、異言語話者間の相互理解にも適用可能である。論の展開が明快であり、複数のエピソードや実験が交えられていることもあって、理解しやすい内容である。

こうした問題文の特質を活かし、本小論文試験では、問題文における論の展開を捉える問題と、問題文で示された見方・考え方を適用して異言語話者間の相互理解の可能性について論じる問題を出題した。特に後者の問題は、問題文で示されたエピソードや実験が、色・動作といった直接観察可能な対象を意味する言葉のみを扱っている点を批判的に分析するなど、様々な立論が可能な問題である。

- 問1 日本語話者が中国語と英語を学習する際の共通点を、「母語と認識の不可分性」や「母語を通じた認識への無自覚さ」の視点から捉え、説明できるかを測るものである。
- 問2 問題文で示された母語と認識の不可分性に関する見方・考え方や、外国語学習に対する筆者の主張を踏まえ、それと具体的な例を結びつけながら、異言語話者間の相互理解の可能性に対する考えを論理的かつ説得的に論じることができるかを測るものである。